

# 中小企業あきた

- 1 「終活」でこれからの人生を考える…………… 1  
～秋田シニアライフ協同組合～
- 2 「2018年版中小企業白書」の概要をご紹介します…………… 2



- 景況レポート4月分…………… 4
- 中小企業組合等支援施策情報…………… 6
- 組合相談コーナー…………… 6
- 話題の広場
- 中央会事業より…………… 7
- アラカルト…………… 8
- インフォメーション…………… 9
- 中央会職員コラム…………… 10



## TOPICS 1 「終活」でこれからの人生を考える ～秋田シニアライフ協同組合～



〔あきた終活フェアの会場〕

「終活」に関連する様々な業種で設立した秋田シニアライフ協同組合(鈴木道雄理事長)は、5月11日(金)と12日(土)の2日間、秋田市のアトリオン地下1階イベント会場において「あきた終活フェア」を開催しました。

組合では、終活に関連する総合相談窓口「あきた終活支援センター」を開設し、終活カウンセラーの資格を持つ職員が常勤することで消費者からの相談を随時受け付け、真摯な対応と組合員への迅速な仲介を通して、相談者の問題解決とライフサポートを行っています。

このたび開催された「あきた終活フェア」は、総人口に占める65歳以上の割合(高齢化率)が全国1位である一方、終活に関する認知度や取組が首都圏に比べて大きく遅れていると言われている本県において、県民の皆様へ「終活」に対する正しい知識を持ってもらおうと毎年開催しているものです。

会場では、来場者に終活への興味と理解を深めてもらうため、葬儀・供養や遺言、不動産

などの相談ブースを設置し、組合員が提供するサービスを体験案内したほか、いざという時に後悔しないためのテーマ別セミナーを併催しました。

このたびのフェアについて、三浦晨昭専務理事は「終活についてまだ後ろ向きなイメージを持っている方は多いが、終活が『人生の終焉を見つめることを通して今をより良く自分らしく生きる活動』であることを知ってもらうため、今後も組合事業として定期的に関わりたい。これからの人生を明るく笑って過ごしていただくため、将来に向けた様々な不安や悩みごとを解決するお手伝いを我々にさせて欲しい」と話しています。

組合では、組合員がお互いに経営資源を持ち寄ることで、「終活」のワンストップ窓口としてサービスを提供しながら、今後はサービスの幅を更に拡充することで、老後のライフサポーターとしての役割を果たしていきたいとしています。